

平成22年度保健福祉部高齢介護課執行目標中期進捗表

番号	執行目標項目及びその内容	目標とする指標 (具体的な数値・内容)	進捗 状況	達成済の結果	年度内の達成に向けた計画
1	<p>地域密着型サービスの整備 認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護施設に係る業務 ◇整備計画、公募要領等の策定</p>	<p>年度内に事業所の決定を行う。</p>	○	<p>原案が完成し、政策会議に提案し公募に向けて準備中。</p>	<p>年度内に公募し、事業所決定をしていく。</p>
2	<p>新しい敬老会の企画検討 平成23年度より、各自治会等小規模単位での自主開催に向けて、関係団体等との協議・調整を行う。</p>	<p>予算編成時までに方向性の確立を行う。</p>	○	<p>敬老会検討委員会を6月下旬に開催した。各自治会等小規模単位での自主開催に切り替えるには準備期間が必要との意見。数年後に向けて検討していくことに多数賛成意見あり。次年度は各旧町地域での開催を望まれた。</p>	<p>敬老会検討委員会の意見を受けて次年度開催方法等を検討していく。</p>

3	運動機能回復訓練 運動器の機能向上を目的とした介護予防事業を確立する。	モデル事業の実施と検証を行う。 木津東部・加茂（7月～9月、木津西部・山城（10月～12月）週に1回予定	○	参加者：木津東部 8名 加茂 12名 参加予定者： 木津西部 5名 山城 19名	7月～9月のモデル事業を終了し、参加者は事業継続実施を望まれている。次年度本格実施を前提に事業内容の検証を行っていく。
4	在宅介護支援センターの充実 木津川市在宅介護支援センターのあり方を検討する。	業務内容を検証し、あり方を検討する。	△	本庁、2支所で各ネットワーク会議等を毎月開催し、要支援者の共有やケース対応協議などを行っている。また、相談窓口の住民周知を市の広報等で行っているが、相談件数の大きな差がある状況である。	業務内容に関しては、今後検討していく。
5	火災報知機給付事業の啓発 高齢者住宅用火災警報器の給付率を向上させる。	事業周知を図り、普及拡大を行う。	◎	市の広報紙に定期的掲載を行っている。対象となり得る可能性のある世帯に個別通知をしている。 ・平成22年6月末 1回目通知済	市の広報掲載 ・平成23年1月末 2回目通知予定

※進捗状況の欄は、既に達成済の場合は◎、年度内に達成する見込の場合は○、年度内に達成できない場合は△を記入すること。